

「東日本大震災 13 周年記念の祈り」と 「講演会」のご案内

主のみ名を賛美いたします。

東日本大震災から 13 周年を迎えました。今年も東北教区内諸教会を会場に、祈りと黙祷を献げます。また、福島聖ステパノ教会会場では、昨年に引き続き講師に片岡輝美さんをお迎えし、講演会を行います。片岡さんは福島第一原子力発電所爆発事故後から今日に至るまでの 13 年間、今なお放射能により苦しんでいる人びとの、いのちと人権、生活が脅かされている事態に抗して声を上げ行動し続けておられます。今年は長谷川清純主教との対談で、福島の子どもの現状を伺いながら、私たちキリスト信仰者としての有り様を共に考えたいと思います。

福島聖ステパノ教会会場での記念の祈り、講演会は YouTube で配信いたします。皆様どうぞ最寄りの会場教会にて、ご参加、ご視聴くださり、被災地と震災被災者、原発事故被害者の方々を覚えてお祈りください。

2024 年 2 月 20 日

2024 年 3 月 11 日 (月)

14:15～15:00 記念の祈り

場所：東北教区内会場教会

15:10～16:40 講演会

場所：福島聖ステパノ教会

※礼拝式文は東北教区ホームページからダウンロードできます。

※福島聖ステパノ教会会場での礼拝と講演会は、東北教区 YouTube チャンネルにて配信いたします。右の QR コードからご覧ください。



礼拝配信



講演配信

講演会

「私のあとに続くいのちのために～福島からのメッセージ」

講師 片岡輝美氏、長谷川清純主教の対談

(講師プロフィール)

1961 年福島県生まれ、会津若松市在住。日本基督教団若松栄町教会員。2005 年、「九条の会・西栄町学習会」を結成。2011 年 3 月 15 日から 2 週間、被ばくを避けるために末息子、妹親子と三重県へ避難。帰還後、同年 7 月「会津放射能情報センター」を設立し代表となる。2014 年 8 月より「子ども脱被ばく裁判の会」共同代表。「これ以上海を汚すな!市民会議」メンバー。「宗教者が核燃料サイクル事業廃止を求める裁判」原告。著書に「今、いのちを守る」(日本キリスト教団出版局)など。

主催：日本聖公会東北教区 東日本大震災被災者支援プロジェクト